



令和4年9月14日

海上保安庁

東アジアの「海図」に関する国際委員会の議長交代

船舶交通の安全確保に必須のツールである海図の作成には、各国の連携が不可欠です。「東アジア水路委員会（EAHC）」は、我が国の海上貿易においても要となる東アジア地域における海図整備の地域内連携を図るため設置された国際委員会です。今般、平成30年から同委員会の議長を務めてきた海上保安庁海洋情報部長は、その責務を現副議長（インドネシア海軍水路部長）に引き継ぎます。

○ 東アジア水路委員会（EAHC）の議長交代式

（1）日時

令和4年9月28日（水）午後2時から2時30分

（第14回東アジア水路委員会総会の会期中）

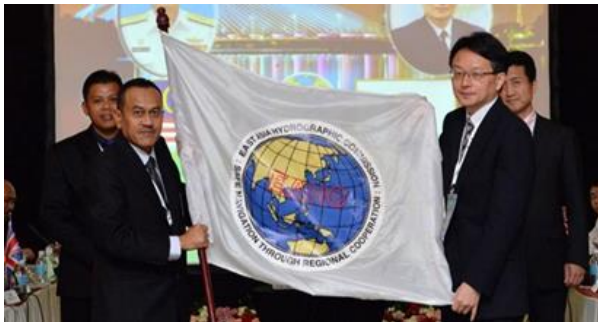
（2）場所

東京都港区虎ノ門一丁目3番1号 東京虎ノ門グローバルスクエア4階

東京虎ノ門グローバルスクエアコンファレンス

（3）議長交代式の概要

- ・ 東アジア水路委員会（EAHC）議長旗の受け渡し
- ・ 新議長就任あいさつ



平成30年9月にマレーシアで開催された第13回東アジア水路委員会総会での議長交代式

○ 取材

- ・ 取材は、上記日時の議長交代式のみ可能です（撮影可）。

○ 取材における注意事項

- ・ 取材を希望される場合は、別紙「取材申込票」に必要事項をご記入の上、令和4年9月21日（水）午後3時までにお申込みください。
- ・ 当日は、会場の撮影場所までご案内いたしますので、午後1時45分までに「虎ノ門グローバルスクエア4階」会場受付へお越しください。
- ・ 取材時には自社腕章を着用願います。

- 国際水路機関（IHO）^{※1}では、世界の各地域に沿岸国の水路当局から成る地域水路委員会を設置し、安全で効率的な航海に向けた、地域的な連携の促進や課題の解決に取り組んでいます。
- 東アジア水路委員会（EAHC）^{※2}は、我が国の海上貿易や物資輸送において重要な航路が位置する東南アジア及び東アジアの海域を担当する地域水路委員会で、当該海域を航行する船舶の航海安全のため、海図の作成や提供等に関する技術的な情報交換、地域内連携やキャパシティビルディング等を行っています。

（参考）

^{※1} 国際水路機関：International Hydrographic Organization（IHO）

大正 11（1921）年に創設された国際水路局の後身として、昭和 45（1970）年に国際水路機関条約に基づき設立。海図の国際基準等について議論。令和 4 年 9 月現在、加盟国 98 ヶ国。

^{※2} 東アジア水路委員会：East Asia Hydrographic Commission（EAHC）

IHO の地域水路委員会の 1 つとして昭和 46 年に設立。令和 4 年 9 月現在、10 の国・地域が加盟（中国、インドネシア、日本、韓国、北朝鮮※、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ）。 ※日本は国家承認していない。

取材申込票

【東アジア水路委員会（EAHC）の議長交代式について】

御社社名： _____（ _____ 名）

| 取材者氏名 | 連絡先（携帯電話等） |
|-------|------------|
| 【代表者】 | |
| | |
| | |

※ 取材申込み締切：令和4年9月21日（水）午後3時まで（時間厳守）

【申込み先】

海上保安庁海洋情報部技術・国際課国際業務室

送付先：jcghkokusaigyomu-3u4d@mlit.go.jp

連絡先：（03）3595－3605（直通）